

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E112E015		漢文学概論 (Introduction of Chinese philosophy)							オンライン(同時双方向型、含 対面)						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	2(R5年度入学生以前3年)	教育学部	後期	月4	日本語				単独					
担当教員	氏名 中尾友香梨 E-mail 内線														
授業の概要	日本文化は、中国文化を取り入れながら成立したといえるが、日本文化に摂取された中国の漢字文献、及び中国古典の言語習慣に則って、日本人が漢字で書きあらわしたものの、その両方がともに「漢文」と称されている。本講義では、日本文化の基礎である中国の漢文について、実際の作品を通してその基本を学ぶ。まずは漢字・熟語の成り立ち、構成から、句やフレーズの構造、機能などを理解していく。次に、諸子百家の散文や歴史書や詩など、歴代の代表的なジャンルの具体的作品を読解していき、小グループで討論しながら、作品内容、作品世界への理解を深め、作者の思想、心情に迫る。その作業を通じて他者を想像する力を養い、子どもへの理解と、適切な指導や必要な支援を行うことができる力の充実を図る。同時に漢文学についての資質の高い教員の養成を目指し、教科指導を的確に実践することができるよう目指す。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	思想、感情を表現する詩文などに触れ、教職に対する使命感や責任感を強める。								○						
目標2	漢字・熟語の成り立ち、構成、基本構造、機能などを理解した上で、初見の漢文を読解できるようになる。									○					
目標3	作品世界を客観的にイメージしたり、作者の心を酌み取ったりするために、自発的・協力的に授業に参加する。										○				
目標4	授業で学び得た作者の思想、心情をもとにして、学校が抱える多様な課題への応用を試みる。											○			
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									2	3	3	2			
授業の内容															
1	ガイダンス														
2	漢字の成り立ちや構成を中心に														
3	熟語の成り立ちや構成を中心に														
4	句やフレーズの構造、機能を中心に														
5	中国古代の歌謡：詩経詩の特徴について														
6	諸子百家の散文、及びその特徴について														
7	六朝の詩を読む。またその特徴について														
8	唐代の詩：近体詩、古体詩について														
9	唐代の詩：白居易や元稹の詩を読む。またその特徴について														
10	宋代の散文を読む。また文学的散文の特徴について														
11	北宋の詩を読む。またその特徴について														
12	南宋の詩を読む。またその特徴について														
13	元代の詩を読む。またその特徴について														
14	明代の詩を読む。またその特徴について														
15	清代の詩を読む。またその特徴について														
ラックティグ	A:知識の定着・確認	○	3、4人からなる小グループを作り、教員が投げかける問題ごとに議論し、その結果をみなに発表する。また簡潔にノートにまとめる。				工夫 その他の	特になし							
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	参考文献を読み、事前に配布されたプリントを読んでおく。(15h)													
	事後学修	授業を復習し、講義内容をノートにまとめなおす。(30h)													
	想定時間合計														
教科書	授業中にプリントを配布し、また資料を板書する。														
参考書	なし。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	毎回の授業ごとの気づきを、最後にまとめてレポート提出する。	50%	○	○	○	○						
	毎回の講義内容や自分で調べた事などを、自分なりのノートにまとめ、点検を受ける。	30%	○	○	○	○						
	アクティブラーニングでの成果として、グループ討論の状況、及びその討論状況の発表。	10%	○	○	○	○						
	時間外学習の成果。	10%	○	○	○	○						
注意事項	パソコンやタブレット、またはその代用となしうるものを、各自用意しておくこと。											
備考	以下のサイトを一度見ておく。国学大師 http://www.guoxuedashi.com/ 漢籍リポジトリ http://www.kanripo.org/											
リンク	WEB支那漢（支那文を読む為の漢字典） URL http://www.seiwatei.net/chinakan/chinakan.cgi											